くまもと県民葬祭

ふれあい通信 Vol.008

2006年12月17日号　第008号

発行：くまもと県民葬祭
発行責任者：常務取締役 岩崎 寿子

ホームページ
http://www.0077-78-1059.com

お問い合わせ（通話無料）0077-78-1059

浄土真宗本願寺派 ビハーラ協議会に参加

十二月十三日、浄土真宗本願寺派熊本教区会館で開かれたビハーラ協議会に葬祭業者の代表として弊社から三名が参加、グリーフケアを中心に意見交換をさせていただきました。

会の進行役を勤められた参勤主事の山崎光先生

ビハーラとは古代サンスクリット語で「安らぎの場所」という意味で、ビハーラ活動とは仏教徒が、仏教・医療・福祉のチームによって、支援を求めている人々を孤独の中に置き去りにしないように、その心の不安に共感し少しでもその苦悩を和らげようとする活動です。今回開かれた協議会のテーマはグリーフケア悲嘆の悲しみの中にある方にどうやって手を差し伸べるかを寺院、葬祭業者、ビハーラ活動を行う方がそれぞれの立場で協議するもの。毎月一回第二水曜日に開かれる例会の拡大協議会として開催されました。

当日は、開会に先立ちビハーラ熊本の役員の方と食事を交えた懇談会も開かれました。

本協議会は嶌頭円城熊教区教務所長の開会挨拶で始まり、ビハーラ熊本代表世話人で光蓮寺多田澄明住職、進行役を勤められた別院山崎主事をはじめ約十五名が参加。テーマであるグリーフケアをはじめ、葬儀のあり方には意見交換が行われたるまで活発に意見がありました。中でも在の葬儀のあり方レモニー化や悲しみの中にある遺族に対する接し方など寺院サイドからご見た葬祭業者へのご意見などは、後の参考になることも数多くありました。

写真中央が弊社の森代表

グリーフケアの問題では、「弊社は、予約制で行っている生前予約者の方々を介護や癒しの活動を通じて紹介し、亡くなられた方とご遺族の方とのお別れの場を提供する葬儀社として、新たな事業部構成や組織の見直しを行い、ご縁のあるお